

SMV抵抗性を持ち収量性を向上させた 新「京夏ずきん」の育成



京のブランド製品のひとつである黒大豆エダマメ「京夏ずきん」は露地栽培で8月に収穫するエダマメです。ダイズモザイクウイルス（SMV）抵抗性を持ち、収量性を向上させた新品種を育成しています。

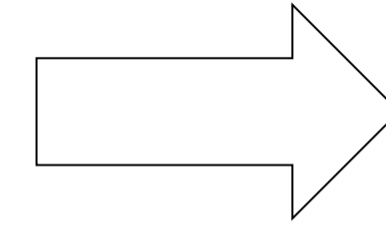
母親

- ・SMV抵抗性
- ・良食味
- ・収量性が高い

交配
×

父親

- ・早生
- ・良食味



新「京夏ずきん」

- ・早生（8月収穫）
- ・SMV抵抗性
- ・良食味
- ・収量性が高い

交配



雌しべ（母親）に花粉（父親）をつけます。

生産力検定



世代促進



温室内でF₁世代の個体をポット栽培し、F₂世代種子を得ます。

選抜



F₂世代からは苗にSMVを接種し、SMVによる葉の縮れやモザイク症状がなく、早く開花した個体を選びます。

F₇世代以降にエダマメの収量、食味などを調査し、良食味で収量性が高い系統を選抜します。

平成29年夏にはF₅～F₈世代を栽培しており、収量性や食味を調査しています。

SMV抵抗性を持った新品種が完成すれば、夏のエダマメの出荷量を拡大することができます。